



クローズアップ
CLOSE UP

韋駄天上州駆け抜ける

1月1日、元旦恒例のニューイヤー駅伝が本市を発着点に開催されました。県内での開催は今回が30回目。地区予選を勝ち抜いた37チームが出場し、沿道からは熱い声援も。結果は旭化成が18年ぶりに優勝。上州路が力走に湧いた一日となりました。



文明の十字路を学ぶ

寛仁親王牌を記念しトルコ講演会を12月23日に開催。アナトリア考古学研究所所長の大村幸弘さんが、トルコでの長年にわたる発掘の成果を語りました。また、トルコ写真展も合わせて開催。来訪者は文明の十字路・トルコの多彩な魅力を楽しみました。



1泊2日の図書館探検

12月23日から24日まで、こども図書館で「ぬいぐるみのおとまり会」を開催。ぬいぐるみと一緒に読み聞かせを楽しみました。その後ぬいぐるみは図書館に泊まり、夜の館内を探検。次の日迎えにきた子どもたちは、写真でその様子を見て驚いていました。

いきいき
まえばし人
赤池飛雄さん・13歳
町山莉緒さん・14歳
碓氷創平さん・14歳
科学の全国大会で優勝
三中



この経験を将来のステップに

筆記と実技を通じて思考力やものづくりの能力、コミュニケーション力を競う科学の甲子園ジュニア全国大会で県代表として初の総合優勝。2万5,000人を超える参加者の頂点に立った。

「最初は実感があまりなかったのですが、いろいろな所で紹介されたり、知り合いに声を掛けられたりして、優勝したんだと強く感じるようになりました」と町山さん。

5月上旬に理科の教師から提案を受けてチームを結成。県大会で優勝し、準優勝の伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校の3人との合同チームで全国大会に臨んだ。

赤池さんが「お祭りみたいで楽しめました。科学の得意な人が活躍できる機会を得られてうれしかったですね」と語るなど、大会では実力を発揮。一方でチームワークの大切さを改めて学んだという。

「チームメイトに自分のミスを指摘してもらえました。他の5人がいて達成できたことだと思えます」と碓氷さん。

普段は勉強のライバル。当初は不十分だった連携も時を重ねるにつれ成熟した。

将来は量子コンピュータの開発、新薬の開発、数学教師と目指す夢はそれぞれだが、この経験を糧に夢の実現に向けた一層の飛躍を期待したい。

以前の私は、前橋での美術関係の付き合いなどには興味ありませんでした。しかし、3年前のアーティスト前橋の誕生で優れた芸術家がこの前橋に数多くいることが分かりました。

絵描きの私がそんな認識だったため、市民の皆さんは前橋にどんな芸術家がいるのかほとんど分からないと思います。そこで、素晴らしいアーティストとその作品をみんなに見てほしいと思い、展覧会を企画しました。この草の根のアイデアは「前橋の美術2017」多様な美との対話展として2月に実現します。

2月3日(金)から26日(日)まで、国内外で活躍する前橋ゆかりの48人のアーティストの作品がアーティスト前橋に集結。副題が示すとおり、スタイルは多様で、とても楽しい展覧会が期待でき

vol.05
ART STORY
広がるアーティスト前橋



前橋ゆかりのアーティストの作品を楽しんでほしいですね

きます。この展覧会で前橋の美術の実力が分かっていただけると幸いです。

展覧会を継続的に開催することで前橋のアートシーンは一層盛り上がるでしょう。

アーティスト前橋は、市内唯一の公立美術館。私はここほど活発に活動している市立美術館を知りません。これからも文化芸術の発信基地、前橋の芸術を掘り起こす場として、そして未来を創る教育の拠点として多くの市民から愛されるよう願っています。



第5回は、アーティストで、次回企画展「前橋の美術」実行委員会委員長の金井訓志さんが、多様な美との対話について語ります。

アート前橋
☎ 027-230-1144